



**2021-2号**  
令和3年6月

発行所 独立行政法人 国立病院機構 西別府病院  
住 所 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見4548番地  
TEL 0977-24-1221(代表)  
FAX 0977-26-1163(代表) 0977-76-7231(連携室)  
ホームページアドレス [http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)



別府を臨む

目 次

令和3年度に取り組むべきこと	2	オンライン面会の実績	8
新任のご挨拶	3	オンライン看護実習	9
医局紹介 小児科・小児精神科	4	退任挨拶	10
職場紹介 東2病棟	5	新任のご挨拶	12
コロナ禍での成人式	6	令和3年度 病院運営方針	14
国立病院機構西別府病院ボランティア“さわらび” 解散式に寄せて	7		

**理 念** 私たちは、常に研鑽し、患者さまのために最良の医療を提供します

**基本方針** 1. 患者中心の医療 2. 患者の権利と尊厳を守る 3. 政策医療の推進 4. 地域医療への貢献  
5. 最良・安全医療の提供 6. チーム医療の推進 7. 経営基盤の確立

**患者さまの権利** 1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利 2. 十分な説明を受け、質問する権利  
3. 自分で医療の内容を決定する権利 4. プライバシーを保護される権利  
5. カルテ開示を受ける権利 6. セカンドオピニオンを受ける権利 7. 臨床研究への参加と拒否の権利



日本医療機能評価機構  
認定番号: JCI1505号

# 令和3年度に取り組むべきこと



院長  
後藤 一也

西別府病院の広報誌をご覧ください誠に有難うございます。平素は大変お世話になっており感謝申し上げます。令和3年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

病院周囲の桜が咲き誇る中、退職者、転出者を送り、新採用者、転入者を迎えて新年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症については、医療従事者や高齢者へのワクチン接種が開始されたものの、変異株による第4波の到来など予断は全く許されない状況です。面会制限が始まって1年が過ぎ、入院患者やご家族の皆さまにはご不自由、ご負担をおかけしておりますが、何と少しでも院内感染を防がなければならず、面会制限について皆様には引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げる次第です。

西別府病院は令和4年度から、増築した東病棟に病棟を集約して、セーフティーネット系医療により特化した医療サービスを提供していく方針です。令和3年度は文字通り準備の最終段階の年となるため、本年度の病院運営方針と目標を以下のように決めました。

## 運営方針

令和4年からの東病棟増築・病棟再編に向けて、今後西別府病院が提供すべき医療・福祉サービスを定める。そのため、職員、会議などの役割分担を明確にしたうえで、①専門性の向上、②チーム医療の推進、③適正、効率的な業務の実践に努める。患者の支援体制を整備し、患者との対話を促進するとともに、職員にとってやりがいのある、働きやすい病院をめざす。これらの取り組みを院内外に情報発信していく。

## 目 標

1. 病棟再編を円滑に遂行する
2. 収支を黒字化する
3. 役割分担（職種・会議）を明確にして提供すべき医療・福祉サービスの内容を定める
4. 適正な保険診療および診療・障害福祉サービス等報酬の請求を行う
5. 新型コロナウイルス感染症の院内感染を起こさない
6. 適切な言葉遣いを通して接遇を向上する

目標が達成できたかどうか、その評価は、患者さんやご家族のお声はもちろんのこと、連携施設の方々からの忌憚のないご意見が何よりの目安となります。今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

COVID-19の暗がりはまだ続きますが、皆様にとりまして、今日より明日、今月より来月が少しでも好転することを祈念申し上げます。

## 新任のご挨拶

※その他新任職員挨拶は  
12ページより掲載



事務部長  
清水 就人

4月1日付で指宿医療センター（鹿児島）から赴任しました事務部長の清水と申します。どうぞよろしくお願い致します。

前任地の指宿市も天然砂むし温泉（砂風呂）で有名な観光地でしたが、出不精な性格もあり赴任1年目（2019年）は、殆ど出歩くことをせず、新年（2020年）になったら少しは観光もしてみるかと思っていた矢先、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い今度は、出歩きたくても出歩けない状況となってしまいました。唯一購入した割引入浴チケットも結局その後1枚も使うことなく転勤となってしまいました。

別府市は全国的にも有名な温泉地です。指宿での失敗を教訓に、感染防止に努めながら積極的に温泉と観光を楽しもうと考えていますので、お勧めの日帰り温泉がありましたら教えてください。

さて、西別府病院は今、大きな転換期にあります。病院の経営改善を最重要課題に掲げ、その方策として病棟再編を計画しています。これまでどおりセーフティネット系医療（重心、筋ジス、神経難病、結核等）に集約した医療を継続しますが、結核病棟（中4病棟）、一般病棟（中2病棟）の機能を移転し、東1病棟から東3病棟においてユニット化を図る計画です。この病棟再編計画に基づいて、今年度は病棟増築整備工事を予定しています。

私も地域医療と西別府病院の発展のために微力ながら頑張っていきたいと考えていますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



神経内科医師  
片山 徹二

この4月から西別府病院の神経内科に赴任しました、片山徹二と申します。出身は岡山県で、大学からずっと大分にいます。大分に来てすぐのころ、大学の先輩から大分県人はみんな車の中に温泉セットをいれてあると教えられ、とても驚いた記憶があります。そんな私も今では車の中に温泉セットを常備するようになりました。今はコロナの影響で、人の多い場所や、感染リスクの高い場所に行くことは憚られますが、せっかく別府で勤務できるので、感染に注意して温泉を楽しみたいと思います。

さて、これまでの勤務はすべて急性期病院で、今回初めて慢性期病院での勤務となります。働き方が変わるので不安はありますが、自分の幅を広げるチャンスでもあると考えています。特に西別府病院は、筋ジストロフィーや筋萎縮性側索硬化症などの神経難病の療育や支援、リハビリテーション、療養など多岐にわたり、とても重要な役割を持ち、急性期病院に対しての後方支援としても重要な役割を果たしていると考えています。今回、ここで働く機会を頂けたことはとてもありがたく感じています。

スタッフの助けを借りながら、患者様に「良かった」と思ってもらえるような仕事をしていきたいと思います。これから何卒宜しくお願い致します。



呼吸器科医師  
中村 祐太

4月より西別府病院 呼吸器内科に赴任いたしました中村祐太と申します。

私の出身は福岡県ですが、大分大学に入学し学生生活6年間を大分県で過ごし、すっかり馴染みましたので、卒業後も大分県に残ることを決めました。厚生連鶴見病院で初期臨床研修を終え、大分大学医学部附属病院 呼吸器感染症内科学講座に入局しました。その後は呼吸器内科医として、鶴見病院、新別府病院と別府市内の二次・三次救急指定病院に勤務してきました。

これまで肺結核の患者さんを診療する機会は度々ありましたが、入院勧告となった患者さんに関しては西別府病院に治療を依頼しており、大変お世話になっていました。

この度、縁あって、西別府病院に勤務することとなり、主に結核患者さんの診療をさせていただきます。結核は治療においても制度においても特殊な感染症であり、私自身がまだ不慣れな部分もありますが、患者さんの支えになれるよう精進する所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

医局  
紹介

## 小児科・小児精神科

小児科医師 植田 里枝子

今回は、当院の小児科・小児精神科の日々の診療内容を紹介させていただきます。

現在、小児科専門医6名と精神科専門医1名で診療を行っております。

## 入院

当院には、療養介護病棟として、重症心身障害患者病棟と神経筋疾患病棟があります。乳幼児期～未成年期に当院へ入所された方は主に小児科医が、成人期に入所された方は成人科医師が主に担当しています。小児科医が担当している主な疾患としては、脳性麻痺、筋ジストロフィー、その他先天性疾患等で、年齢は2歳から70歳代、患者数は約100名です。長期間病状の安定した方もいれば、呼吸や循環状態が不安定な方、また感染症の対応が必要なため点滴や集中的な治療が必要な方もいます。自ら訴えを伝えることが難しい患者様の状態をコメディカルと共に日々注意深く見守り、急性増悪の早期発見早期治療を心がけています。

大分県内基幹病院の新生児科を中心とした先生方や、大分県全域の地域小児科の先生方と密に連携し情報共有しながら新規患者様の受け入れを行っております。

また、外来経過観察中の患者様の状態が急性悪化した時や、精密検査が必要な時などの入院対応も行っております。

## 外来

当院では以下の分野の専門外来を行っております。

- 1 小児腎臓：(平松美佐子医師、植村篤実医師) 先天性の尿路異常を含む、慢性・急性腎疾患全般
- 2 小児内分泌：(今井一秀医師) 糖尿病、甲状腺疾患、低身長など
- 3 小児神経：(後藤一也医師、内山伸一医師、植田里枝子医師) てんかん、神経筋疾患、神経発達症(発達障害) など
- 4 小児精神：(有馬明子医師) 自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの神経発達症、不安症やうつ状態など子どもの精神的発達の問題についての診断治療

担当医師 植田 里枝子 (小児科医師)

大分大学卒

日本小児科学会専門医



# 職場紹介

## 東2病棟

職場やそこで働くスタッフを紹介するこのコーナー。意外に知らないことがたくさんありますよね。今回は東2病棟にインタビュー！



東2の概要について教えてください（病棟機能・患者構成・職員構成など）



神経・筋難病と重症心身障害者の療養病棟です。

患者数は50名 筋ジス患者14名  
重症心身障害患者17名 神経難病患者19名  
看護師37名 療養介助専門員8名 業務技術員3名

長期の面会制限のなかで、患者さんへのケアや病棟運営などにおいて、苦勞や工夫、努力されてきたことについてぜひ教えてください。

面会制限で患者様の身の回りのお世話ができない中、ご家族に成り代わることはできませんが、可能な限りご家族より引き継いでご希望されるケアを行ってきました。

うれしかった患者さんの言葉や気持ちを教えてください。

専門的治療を受けるために他院に転院し、東2病棟に戻ってこられ「やっぱりここが一番いい」と言われた時は何よりうれしいです。

患者さんをケアしていくためには、病棟スタッフの元気が大切だと思いますが、交代制勤務のなかで、こころやからだの健康を保つおすすめの方法、ならではの流儀があれば教えてください。

仕事のON、OFFの切り替えかな。頑張っている自分に「ご褒美の時間」を持つこと、寝る、食べる、旅行（今はできませんが…）など。

看護師長さん、東2病棟から院内外へのお願いなどがあれば自由に書いてください。

院内外の誰かにお願いと言うより、今は、一日も早く、ご家族が面会できる様になることを願っています。

最後に、東2病棟が今後目指していることがあれば教えてください（青写真）。

日々の看護の中で、受け持ち患者さんとの関わりを今以上に持てる時間が作れたらいいなと思っています。



# コロナ禍での成人式

療育指導室 児童指導員  
岡村 浩城

令和3年1月20日(水)に令和2年度の成人式が開催されました。

今年度は東3病棟の入所者1名がめでたく新成人の仲間入りをされました。コロナ禍での開催ということで、感染予防のため病院関係者による病棟プレイルームでの開催という形となりました。

普段、活動や行事で利用している見慣れたはずのプレイルームも、成人式仕様に華やかに装飾され、壁面は今回コロナの影響で式に参加できなかった市町村や卒業した支援学校の先生方、重症心身障害児(者)の親の会からなど沢山の祝い言葉で埋め尽くされました。そんな普段のプレイルームとは違う装いに少し緊張した表情でご本人が登場されました。

成人式に向けてご家族と準備をされた鮮やかな着物姿は美しいばかりでなく、成人したばかりとは思えない凛々しささえも感じられました。はじめこそ緊張された様子でしたが、病棟での開催ということもありアットホームな雰囲気徐々に緊張も解け、笑顔も見られるようになりました。

穏やかな雰囲気の中、後藤院長の挨拶に始まり、受持看護師による成人者の紹介がありました。ご本人の

幼少期から現在までをまとめたスライドの上映では、ご本人が沢山のの方々から愛されてきたということが、ひしひしと伝わってきました。お祝いの言葉では、ご本人と同じ病棟に入所されている皆様が準備して下さった「お祝いのくす玉」が披露され、ご本人によって割られた瞬間、会場は盛り上がるのと共にとっても温かい空気に包まれました。

式の終了後、参加者全員で記念撮影をしました。そして、着物姿でご本人が病棟を回り、職員一同からお祝いの言葉をかけられると、嬉しそうな表情をされていました。

感染防止のため、残念ながら来賓の方々をお呼びすることはできませんでしたが、病棟での実施という初の試みの中、例年とは違うアットホームな雰囲気です式を開催することができました。コロナ禍においても、アットホームなあたたかさをもって成人のお祝いができ、ご家族からお褒めの言葉をいただきました。

成人を迎えられたご本人をはじめご家族の皆様、あらためて心よりお喜び申し上げます。成人おめでとうございました。



# 国立病院機構西別府病院ボランティア“さわらび” 解散式に寄せて

療育指導室 主任児童指導員 荻本 みわ子

国立病院機構西別府病院ボランティア“さわらび”は、平成10年3月に発足し、活動が始まりました。「難病と闘う人々の後押しができれば」と願う方々が集まり、この会が誕生したそうです。縫製、音楽活動や行事の付きそい、読み聞かせなど幅広い活動をされています。

縫製ボランティアについては、当初はゲストハウスという建物があり、そこに集まり作業をされていました。東病棟が建ってからは療育支援棟のボランティア作業室で、第1木曜日～第4木曜日の午前中に活動をされていました。

今回、新型コロナウイルスの流行のため、感染拡大を防ぐ観点から思うように活動をしていただくことができず、またボランティアさん自身の高齢化もあり、解散するということが代表の方よりお話がありました。突然のことではありましたが、これまで約23年間、毎週活動していただいた“さわらび”さんに感謝の意を伝えたいと考え、病院で解散式の前に感謝の会を計画しました。病院幹部を始め、病棟師長や事務部など多くの職員が集い、感謝の気持ちをお伝えしました。“さわらび”さんからも会の開催に対してお礼のことばをいただきました。

長きにわたり、当院の利用者の方々に寄り添い、とても丁寧な作業をしてくださったことを心より感謝しています。

今後は要望に応じて個別のボランティアをしていただけるとのこと。これまでの継続した“さわらび”としてのボランティア活動に感謝するとともに、これからは個別ボランティアとしてお願いできればと思っています。「国立病院機構西別府病院ボランティア“さわらび”」さん、本当に長い間ありがとうございました。

## 院長コメント

荻本主任が紹介しておりますが、重症心身障害病棟に隣接するゲストハウスで縫製される皆様のこと思い出しました。解散式での皆様のお言葉にたいして、私自身は拙い挨拶しかできませんでした。しかし、利用者さんの身近で、縫製された改良着などのすばらしさ、ありがたさを知る看護師長のことばで病院の感謝の意をお伝えできたと思います。長い間本当にありがとうございました。



# オンライン面会の実績

療育指導室 保育士 林 田 正 樹

令和2年9月から療養介護病棟にて新型コロナウイルス感染防止対策として面会制限を行うに伴い、新たな面会の方法としてオンライン面会を開始しました。面会を希望されるご家族に療育支援棟に来ていただき、専用のタブレットを使用して療育支援棟と利用者のベッドサイドを「ビデオ通話」で繋いで行っています。開始したばかりの頃は、利用者やご家族、対応する職員も新たな面会方法に戸惑うこともありました。徐々に慣れてスムーズに面会をすることができるようになりました。

実績としては、令和3年4月までに東1病棟149件、東2病棟164件、東3病棟119件、東4病棟105件、東5病棟139件、合計676件実施しています。11月に感染状況を鑑み、面会制限を一部緩和して対面面会を行ったため、若干オンライン面会の件数は減りましたが、現在は面会制限継続に伴い希望者も徐々に増え、増加傾向にあります。また、1月から原則月1回のオンライン面会を個別の事情等により2回希望される方には、各病棟で調整して可能な限り月2回実施するようになりました。各病棟約7～8件のご家族が2回面会を希望されています。

ご家族からは、「顔を見ながら話すことが出来て嬉しい。」「早く近くで会えるといいけれど、こうして元気な顔が見られるだけでも嬉しい。」などのご意見をいただいています。利用者からも「あまり言いたいことがはっきりと言えないけど(スタッフや他利用者がいるため)、全く会えないよりは、会えた気分になる。」「自由な直接面会ができないので、オンライン面会でもないよりは良いです。」などのご意見をいただいています。面会中は、嬉しそうな表情や会話が尽きない様子もあり、ご家族と過ごすことで心穏やかに過ごせる時間を少しでも感じていただけると幸いです。

新型コロナウイルス流行の終息の目途がつかない日々が続く、利用者やご家族のみなさんが面会できないことへの不安を抱えている現状を少しでも緩和することができるよう、今後も多職種で連携していきたいと思っております。



# オンライン看護実習

教育担当看護師長 平野 美幸

新型コロナウイルス感染防止のため、病棟での実習受け入れができなくなりました。看護学生にとって、臨床で患者さんと接することは、最も貴重な学びの機会となります。

そこで、臨地実習の代替案として、学生が行った情報のアセスメントや立案した看護計画の指導やカンファレンスを、リモートで行うようにしました。看護師は、学生の質問に答えるだけでなく、病棟の構造、患者さんのベッド周辺的环境、生活の様子、姿勢や体位など、看護計画を立案するにあたり必要となる情報を写真で準備し、患者さんがイメージできるようにアドバイスしました。学生からは、実際の様子を写真で見ることにより、イメージがしやすいという反応が得られました。

コロナの収束を願いつつ、実習受け入れが可能となるまでは、今後も、リモートでの指導を取り入れ、学びの理解を深める機会を提供していきたいと考えています。



# 退任挨拶

## 退職のご挨拶

事務部長 馬 渡 永年

2年間ではありましたが、大変お世話になりました。令和2年からは新型コロナウイルス感染症対策で職員が一丸となって対応してきたこと、東病棟増築整備の実現に向けて取り組んできたこと、まだまだ“道半ば”の心境ではありますが、事務部長を支えていただき、ありがとうございました。自粛が続く中ですが3月末で一旦(?) 国立病院機構を離れ、この4月からは地域医療機能推進機構(JCHO)九州地区事務所に参ります。西別府病院の今後の発展と新メンバーでの船出に期待します。

## 退職するにあたり

看護師 岩 坂 明

昭和55年に就職し看護の道一筋でやってまいりました。この40年間私にとって色々な事がありました。就職した当初は筋ジス病棟で准看護師で働いていましたが、もう少し看護の知識やスキルアップしたい想いと、また妻の後押しもあり病院を退職せずに働きながら看護学校に行きました。この年から男子学生の産婦人科実習が始まりとてもとまどいしましたが、とても貴重な経験ができました。一生忘れることはないと思います。また卒業の2ヶ月前には阪神淡路大震災が発生し高速道路やビルが倒壊し異様な光景がテレビで放映されたのが印象的でした。病棟で深夜勤しているときに熊本、大分の地震を経験しまして阪神淡路大震災が蘇ってきて東病棟が倒壊するのではと、とても恐怖を覚えながら深夜勤が終わるまでヘルメットを被り患者様の看護にあたり患者様はけがもなく長く感じた深夜勤でした。車椅子での移動、ベット上での生活、呼吸器系の低下、人工呼吸器装着となり若くして亡くなる患者さんもいましたが、日進月歩医療が進み今は50歳から60歳なかには70歳越えの患者様もいてそれに携わる看護を行い信頼関係が構築でき声掛けした時笑顔と笑い声にとってもいやされ光栄に思ってますし、又今までに一緒に働いてきた職員スタッフにもサポートされて定年まで働き続けられたことに感謝したいと思いますしお礼の言葉ありがとうございますを言いたいです。

## 退職のご挨拶

医師 財 前 行宏

このたび、3月31日をもちまして退職することになりました。西別府病院には2000年(平成12年)4月に来ましたので21年勤務したことになります。

自分は、一度大学の理工学部を卒業してしばらく勤務してから医学部に入り直したので医師になったのは遅くなっています。当院に来る前は、大学院で予防医学、大学の医局では内分泌代謝をしていました。

西別府病院は、県の結核最終拠点病院ですので、結核患者のみならず珍しい症例が来ます。一般病院ではあまり見ないような症例を経験することが出来ました。特に結核をはじめとする抗酸菌症等の呼吸器感染症を診療することが多くなりました。実際の症例で、真菌症等では治療に難渋し、現在の医学の限界を感じることもあります。画像診断に苦慮することも多くなっています。調べるほどに判らない点も出てきます。医学分野の今後の進歩・発展に期待しますが、自分にとっても医学の道半ばと実感することになりました。それなりにやってこれたのは周囲の方々のご支援の賜物であり、感謝しております。今後、当院で経験したことや学んだことを活かし、今後もより一層の精進をして参ります。長い間有り難うございました。皆様方の今後のご健勝を祈念しております。

## 転勤に向けて

療育指導室長 大木 一弘

在職中の3年間大変お世話になりました。

トータルでは、約30年近く西別府病院でお世話になり大変感謝しています。

今回の在職中、短期入所事業や多機能事業所の開所、オンライン面会の開始等では他部署の皆様に多大なご協力をいただき有難うございました。

西別府病院の療育指導室も来年度からの病棟再編を含め体制が大きく変わります。

転入スタッフを含めて、在籍スタッフが一致団結して西別府病院の福祉サービスの向上に努めてくれると思いますので、今後とも療育指導室をよろしくお願いします。

## 転勤のご挨拶

療育指導室 保育士 荒川 美里

西別府病院で保育士になり、3年目を終えようとしています。重症心身障害児・者病棟と多機能型事業所「ひだまり」の保育士として勤務させていただきました。毎日様々な学びや発見があり、充実した3年間でした。利用者やご家族の皆様にはいつも温かく接していただきました。私が保育士として勤務できたのも皆様の支えがあってからこそだと感じ、本当に感謝しています。大変お世話になりました。

## 転勤のご挨拶

療育指導室 保育士 古川 なつみ

西別府病院に保育士として就職して、2年経ちました。この病院で、嬉しい事や辛い事、色々ありました。最初は、右も左も分からなかったけれど、皆さんから優しく、時に厳しく、たくさんの事を教えてもらいました。西別府で過ごした2年間は、私にとって、とても貴重でした。次の病院でも、西別府で学んだことを忘れず、私らしく自分のペースで頑張りたいと思います。2年間、本当にありがとうございました。

## 退任・転出される方々へ

寄稿された方々を含めて、退任、転出される方々の病院への貢献に感謝申し上げます。私が当院に赴任以来お世話になった方もおられ、コロナ禍の中、送別会を開催できず残念の極みです。皆様の今後の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。





# 新任のご挨拶

## よろしくお願いします

副薬剤部長 下村 真代

大分医療センターより副薬剤部長として承認で参りました下村真代と申します。初めて管理職となり緊張しておりましたがこれまで一緒に働いたことのある方々を院内でちらほらお見かけし心強いです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくお願いします。

## よろしくお願いします

薬剤師 入江 知美

別府医療センターからきました入江知美です。出身は福岡県です。初任地は宮崎で3年間働かせていただき、別府は4年目となります。今年こそは温泉名人になりたいと思っています。早く日々の業務に慣れるよう頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 新たな気持ちで自分らしく笑顔で

診療放射線技師長 鴛海 勝治

このたび、診療放射線技師長として着任しました鴛海勝治です。14年ぶり西別府病院に勤務します。先日偶然、病院の駐車場で扇山火祭りを見て、春を感じました。新年度が始まりました。新たな気持ちで、自分らしい笑顔で、仕事に励みたいと思います。お気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

## はじめまして

副臨床検査技師長 松永 秀幸

このたび佐賀病院から参りました、研究検査科の松永秀幸と申します。大分は初めてですが、関サバ・関アジを肴にお酒が飲めることを楽しみにしています。まずは早く慣れるよう皆さまとコミュニケーションを取りつつ業務に励んでいきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

## はじめまして

臨床検査技師 鬼塚 久弥

都城医療センターから赴任して参りました臨床検査技師の鬼塚と申します。出身の大分に帰ってきました。4月からは検査室で細菌検査を担当しています。細菌検査についてご不明点がございましたら、ご相談下さい。まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

## はじめまして下田です

臨床検査技師 下田 直幸

はじめまして。このたび研究検査科に採用となりました下田と申します。昨年度の3月まで宮崎市内の病院に勤務しておりました。マラソンが趣味で、別大マラソンに出場した経験があります。一つ一つの仕事を全力で取り組んでいきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## よろしくお願いします

作業療法士長 高木利栄子

このたび4/1付けで着任しました作業療法士の高木です。2年ぶりの西別府病院ですが、新しいことを覚えるために、以前のことは上書きされて、曖昧です。ご指導のほどよろしくお願いいたします。3回目の西別府病院、少しでもお役に立てるよう頑張ります。

## 宜しくお願いします

理学療法士 若山 晃輔

この度異動して参りました理学療法士の若山と申します。新しい職場で勝手がわからず、色々ご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、宜しくお願い致します。別府に住むのは初めてですのでいいところを教えてくださいましたら嬉しいです。

## 初めての事ばかりで…

理学療法士 宮崎 稜

この度採用いたしました、理学療法士の宮崎稜と申します。初めての一人暮らしで右も左も分からない状況ですが、何事にもひたむきに一生懸命励みたいと思っております。大分のこと、仕事のこと、その他諸々教えていただけたらうれしいです。まだまだ未熟ですがよろしくお願いいたします。

## よろしくお願いします

外来看護師長 高瀬 由香

このたび、大分医療センターより着任いたしました高瀬と申します。かなりの方向音痴で、病院内外問わず困り顔でキョロキョロしていますので優しく声をかけてくださると助かります。微力ながら精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## よろしくお願ひいたします

東1病棟看護師 赤峯康一郎

この度、着任いたしました看護師の赤峯康一郎と申します。趣味はゴルフとバイク免許を取得したのでツーリングをしたいと思っています。いつも笑顔で頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

東3病棟看護師 泉 桃菜

このたび東3病棟に看護師として配属されました。出身は宮崎県です。別府の豊かな自然と食を楽しみながら仕事に慣れていきたいと思っています。仕事も別府のこともわからないことが多く、声をかけさせていただくこともあると思います。よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

東1病棟看護師 満富 那菜

4月から東1病棟の看護師として働くことになりました。出身は鹿児島県です。大分県での生活は初めてなので、温泉巡りや美味しいものをたくさん食べたいと思っています。看護師として成長できるように頑張っていきたいです。よろしくお願ひします。

## よろしくお願ひします

東4病棟看護師 松嶋 晏菜

東4病棟の松嶋晏菜と申します。出身は福岡県で、まだ慣れない環境に不安はありますが、大分県を満喫しながら、仕事を頑張っていきます。見かけた際には声をかけていただいたらうれしいです。よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

東1病棟看護師 岩永 麻宏

このたび、採用いたしました、東1病棟の岩永と申します。大分県暮らしは2年目になりますが、まだ知らない大分を探しながら、仕事に励みたいと思います。分からないことだらけですが、廊下で見かけましたら、お声かけください。よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

東4病棟看護師 神田 莉音

このたび、東4病棟に配属されました神田莉音と申します。地元は大分市なので別府のことをいろいろ満喫しながら、早く仕事に慣れていきたいと思っています。まだまだ分からないことばかりですが、頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

## 同病棟の先輩看護師に似ています

東2病棟看護師 一ノ瀬将人

このたび着任いたしました。東2病棟の一ノ瀬将人と申します。大分には旅行でしか来たことがなく、わからないことだらけなので、おすすめの温泉や食事処(喫茶店)ございましたら是非教えてください。話すことが大好きですので、気軽に話しかけていただけたら幸いです。よろしくお願ひします。

## 精一杯頑張ります

東5病棟看護師 岡田 流依

この度、東5病棟に配属となりました。大分県津久見市出身の岡田です。社会人一年目ということで不安な部分もたくさんありますが、一生懸命頑張りたいと思っています。また、色んな方とお話したいので、見かけたら、ぜひ声をかけて頂けると嬉しいです。よろしくお願ひします。

## よろしくお願ひします！

東2病棟看護師 木田明日香

この度東2病棟に配属になりました、木田明日香と申します。大分市出身です。旅行が大好きなので、大分県内外のおすすめスポットがあれば教えていただきたいです！慣れないことが多くご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張ります！よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします

東5病棟看護師 竹村 美保

4月より東5病棟に勤務させていただきます竹村です。熊本県出身です。初めて大分県に住みますので、温泉や観光スポットに行ったりと楽しみながら気分転換を図り、仕事を頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

## よろしくお願ひします

東3病棟看護師 林 あかり

このたび東3病棟で勤務をすることになりました。看護師の林あかりと申します。出身は大分県宇佐市です。慣れないことばかりで不安ではありますが、先輩方に追いつけるようこれから一生懸命頑張ります。よろしくお願ひいたします。

## よろしくお願ひします！

東5病棟看護師 國部亜由美

この度、東5病棟に配属されました國部です。佐賀県出身です。初めてのことが多くありますが、1つ1つ学んで仕事と一人暮らしに慣れていきたいです。また、看護師として患者様の個別性を捉え、患者様の気持ちに寄り添った看護をしていきたいです。これからもよろしくお願ひします。

## はじめまして

中4病棟看護師 西川 香菜子

福岡県から来ました。別府市で勤務するのは初めてで緊張しています。早く病棟に慣れるように、頑張っていきたいと思います。

プライベートでは別府の観光地や食べ物も楽しみたいと思います。

## よろしくお願いします

児童指導員 川本 郁江

熊本再春医療センターから異動してきました児童指導員の川本郁江です。大分県は初めてですが、病棟から見た海の景色に出身地の宮崎県を思い出しました。大分観光を楽しみながら、仕事に努めたいと思います。これからよろしくお願い致します。

## また、よろしくお願い致します

主任保育士 神鳥 悦子

肥前精神医療センターより、1年ぶりに西別府病院に戻って参りました。懐かしい桜並木の坂を上り、駐車場に入ったとき何とも言えない感慨深さを覚えました。「おかえりなさい」と言って下さる患者様やスタッフの言葉に感謝をしながら、また仕事に励みたいと思います。

## よろしくお願いします

保育士 河野 由佳

このたび保育士として着任いたしました。職員の皆様や、利用者さんに沢山のことを教えていただきたいと思っています。廊下で迷っていることもありますので、よかったら声を掛けてください。小学生2人の子供がいます。よろしくお願い致します。

## 趣味より仕事！？

業務班長 北島 信人

熊本県の菊池病院から配置換えになりました。魚釣りが好きなので、海まで近い大分県に配置されて嬉しいです。アパートの目の前が海という好立地？ですが病院までが遠いのが難点です。とはいえ、仕事優先で頑張りますのでどうぞよろしくお願いします！！

## よろしくお願いします

庶務班長 多川 睦

4月1日付で九州グループから赴任して参りました庶務班長の多川と申します。着任早々、各部門の皆様には様々な場面で支えて頂き、誠にありがとうございます。大分県出身ですが、別府市に住むのは初めてです。別府での生活を楽しくしたいと思っています。よろしくお願い致します。

## よろしくお願いします

専門職 山本 悠介

大分医療センターより異動で参りました専門職の山本と申します。医事はさっぱりですが、なるべく早くお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

## よろしくお願い致します

庶務係長 宇都宮 慎吾

別府医療センターから昇任で参りました。初めての転勤、初めての係長で大きな不安はありますが精一杯頑張りたいと思います。慣れるまでご迷惑おかけすることも多々あると思いますが早く慣れて貢献出来るよう努めますので何卒よろしくお願い致します。

## よろしくお願いします

契約係 後藤 詩和

この度着任いたしました、企画課契約係の後藤詩和と申します。大分県出身ですが、別府で生活するのは初めてなので美味しいご飯屋さんを教えてくれるとうれしいです。最近は漫画の進撃の巨人にはまっています。廊下で見かけましたら、お気軽に声を掛けてください。



独立行政法人 国立病院機構  
西別府病院



ホームページはこちらから →

## 令和3年度 病院運営方針

## 目的

理想と基本方針に則りより良い医療・福祉サービスを提供する

## 目標

1. 病棟再編を円滑に遂行する
2. 収支を黒字化する
3. 役割分担（職種・会議）を明確にして提供すべき医療・福祉サービスの内容を定める
4. 適正な保険診療および診療・障害福祉サービス等報酬の請求を行う
5. 新型コロナウイルス感染症の院内感染を起さない
6. 適切な言葉遣いを通して接遇を向上する

## 方針

令和4年からの東病棟増築・病棟再編に向けて、今後西別府病院が提供すべき医療・福祉サービスを定める。そのため、職員、会議などの役割分担を明確にしたうえで、①専門性の向上、②チーム医療の推進、③適正、効率的な業務の実践に努める。患者の支援体制を整備し、患者との対話を促進するとともに、職員にとってやりがいのある、働きやすい病院をめざす。これらの取り組みを院内外に情報を発信していく。